

るりの新サービスが始まります！ 成人の補装具申請サポート

ご利用者さまへ



補装具申請サポートの提案を「るりの訪問リハビリと生活介護・短期入所」の両方をご利用の利用者様に対して始めます。

弊社の理学療法士が経験や知識から、ご利用者様に合った補装具の情報を無償で提案させていただきます。

18歳以上の方で補装具の作成に関してお悩みの方はお気軽にご相談ください。

概要



18歳以上になると姫路市指定の医療機関での補装具作成が困難な状況です。年数が経ち身体に合わず、作り直しが必要でも申請の段階から行き詰まっている方が多いとわかりました。また作成まで出来たとしても、医師や業者間の連携が取れていないために身体に不適合な装具が出来上がっている現実も知りました。そのような現状を回避するために専門職のサポートが必要不可欠だと考えます。

事例1：手の装具を作成されましたが、新しい装具では手関節伸展制限が緩和されて手関節の可動域が増えると説明されて作成されたようです。しかしながら新しい装具は手関節伸展位で固定しているだけなのでご希望されている自動運動範囲が広がることはなく、むしろ逆に廃用や関節拘縮が生じる可能性があります。

事例2：下肢の装具を作成されましたが、新しい装具では尖足や癒性が高い方用に踵部が高くなっていました。その方は背屈制限もなく尖足でもありません。また癒性もそれほど高くはありませんでした。その装具で歩行すると元々、足部のアライメントが足関節外反優位となっているところを余計に踵骨の外反を助長させてしまい足がクロスし、一歩だすたびに足部が衝突するようになりました。また腓骨筋に過剰な負荷がかかり疼痛が生じました。

このような現状を知り、専門職で連携が取れるようなシステムが必要だという使命を持ちました。私達は専門職として「連携が取れていないために身体に悪影響を及ぼす結果になっている」ところを改善していきたいと考えています。担当医師には小さい時から診てもらっていても、成人した現状に合う装具を作成するためには今の身体機能をしっかり把握したうえで多職種との連携が不可欠です。

目標



多職種と連携を図り、身体に合った補装具の提供をサポートすること

対象者



訪問リハビリと生活介護を両方利用して下さっている利用者様のみ限定です

現在の身体機能に適合した装具作成をサポートするためには、環境が違う場面での観察が必要です。また、装具のみで自動運動の範囲を拡大することは困難ですので、それに合ったリハビリも併せて提案させていただきます。